

「ソサイエティ5.0 (Society 5.0)」

日本政府が提唱している科学技術政策の基本方針……科学技術基本法に基づいて策定されるキヤッチアップーズ。

人類がこれまで歩んできた社会は、「狩猟社会」「農耕社会」「工業社会」「情報社会」であり、これに続く人類史上5番目の新しい社会、それが「ソサイエティ5.0」

情報社会……サイバー空間(仮想)とフィジカル空間(現実)の間における連携不足という課題

こうした課題を、IoTやAIなど現代の最新テクノロジーを活用することで、経済発展と社会的問題を解決し、人間が質の高い生活を送ることができるとをめぐす。

例えば、自動車の場合、自動走行技術を使い、交通事故件数の低下につながたり自動車の運転が難しい人の移動が可能になったりできる。また、無人ロボットや農業用ドローンが普及することによって、農業を営む人の仕事を大幅に減らすこともできる。特に、危険リスクが高い仕事では遠隔操作ロボットによって、人身事故を減らすことも期待できる。いずれも、最新テクノロジー・ジーン技術やIoTを駆使することで人間の不便を解消し、便利な社会を構築する

日本で急速に進む少子高齢化

世界に比べ、日本の生産性の
低さ

これらの問題を改善するため
に掲げられた政策